



「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」「未来へのスケッチ」作成



今回は「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」キャリア・パスポート「未来へのスケッチ」作成と活用方法についてお知らせします。

- ①個別の教育支援計画は、本人、保護者との対話を通して将来の夢、なりたい自分に向けて必要なことを記入します。それらの思いや願いを基にして支援の方向性を決め、合理的配慮を含む支援の内容まで具体的に記入します。医療・福祉などの関係機関との連携を図るためのツールであり、年度当初に担任が作成します。
- ②個別の指導計画は、児童生徒の実態に応じて担任が作成します。一年後を見据え、段階的に具体的な目標を設定します。また、本人が主体の肯定的な目標とし、複数の人が見ても評価が可能となるような目標とします。児童生徒の実態把握を適切に行い、達成が可能な目標を設定することが大切です。

*合理的配慮は、学校が一方的に「これをやります」と決めるものではありません。学校・本人・保護者の三者で対話を行い、子どもの発達段階に合わせて「本当に必要な配慮は何か」をすり合わせ、お互いが納得した上で決定し、「個別の教育支援計画」に、決定事項として書き込みます。これにより、学年が変わったり担当教員が代わったりしても、配慮が途切れずに引き継がれる根拠になります。「個別の教育支援計画」に書かれた長期的な配慮を、学期ごと・各教科ごとの具体的な手立てとして「個別の指導計画」に反映させ、毎日の実践として実行します。

- ③キャリア・パスポート「未来へのスケッチ」は児童生徒本人が主体となって作成するものです。自己理解を促すためのツールであり、子どもの実態に応じて目標設定や振り返りの機会を工夫する必要があります。

＜小学部＞教師が子どもの様子を見取り、自分の好きなこと、得意なことを見付け、自己肯定感を育むことができるようにしていくことが大切です。

＜中学部＞1か月で達成できると思われる目標をなるべく具体的に設定します。うまくいかなかった際の「次はどうするのか？」という振り返りも重要です。

＜高等部＞卒業後の自立と社会参加を見据え、長期目標と短期行動を結び付ける思考力を養います。「目標のために今、何をするか」を具体的に言語化していきます。

「未来へのスケッチ」を活用していくためには、対話を中心に進め、子どもの思いや願いを傾聴すること、できたことを教師が認め価値付けること、家庭にも子どもの成長を伝え、連携を取るなどがポイントになります。

特別な支援を必要とする児童生徒のための「3つの計画」作成ガイド

個別の教育支援計画

長期的な視点と外部連携

将来の夢の実現に向けた「支援のロードマップ」



本人・保護者との対話を通じて、将来になりたい姿に向けた支援の方向性と、合理的配慮を含む具体的な内容を年度当初に作成します。

関係機関をつなぐ連携ツール

学校内にとどまらず、医療や福祉などの外部機関と情報を共有し、一貫した支援を行うためのハブとして機能します。



合理的配慮の合意形成

発達段階を考慮しつつ、本人や保護者と合意形成を図った上で配慮内容を決定し、計画に明記することが望めます。

個別の指導計画

具体的な学習・生活目標

1年後を見据えた段階的な目標設定



児童生徒の実態を適切に把握し、1年間で達成可能な具体的なステップを担任と共に作成します。

主体的かつ肯定的な目標



本人が前向きに取り組める内容であり、かつ複数の人が見ても客観的に評価ができる目標を設定します。

「未来へのスケッチ」

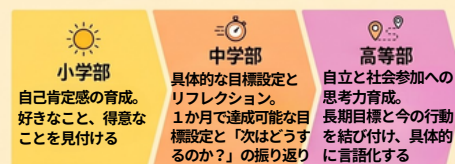
キャリア・パスポート

本人が主体となる自己理解ツール



子ども自身が作成の主体となり、自分を理解し、自己肯定感を高めていきます。

学部ごとの重点ポイント



振り返りの質の向上

失敗した際も「次はどうするか？」を一緒に考えます。教師による傾聴と価値付け、家庭との連携がポイントです。

障害理解学習と交流及び共同学習について（小学部）

本校では交流及び共同学習の一環として、居住地校交流や学校間交流を積極的に行っています。交流活動の事前・事後学習として障害理解学習を取り入れることで、障害に対する具体的な学びや、児童生徒の発達段階に応じた自己理解・相互理解を促し、効果的な交流活動につながっています。今年度、6月までに行われた障害理解学習についてお伝えします。

<6月までに実施した学校>

<障害理解学習の内容>

岩谷小学校3年生	ユニバーサルスポーツクイズ ボッチャ体験 居住地校交流の事前学習（交流児童の紹介）
本荘東小学校4年生	
矢島小学校2年生	ゆり支援学校の紹介 絵本の読み聞かせ 交流児童の紹介
矢島小学校5年生	ゆり支援学校の紹介 車椅子体験 <交流対象学年以外>
象潟小学校3年生	ゆり支援学校の紹介 不器用さの紹介 <交流対象学年以外>



【障害理解学習の詳細はこちらから御覧ください】

2学期のスタートを
応援します！

由利本荘、にかほ地区の
特別支援学級担任の先生方向け

オンライン開催 授業づくり相談会 のご案内

令和8年

8月21日 午後1時~3時



2学期からの授業や子どもとの
関わりに生かしてみませんか

- ・児童生徒が安心して過ごせる環境づくり
- ・困りごとへの対応アイデア
- ・「わかる、できる」を支える授業づくり
- ・生活単元学習を充実させる授業づくり など

お申し込み方法

お電話か右記の申し込みフォームから
お申し込みください

URL

<https://forms.gle/838aTkatecsMvbnS9>



由利本荘、にかほ地区の高校の先生方を
対象にご案内しています

令和8年度 秋田県立ゆり支援学校

学校見学会

特別支援学校の授業の様子や教材教具
の工夫などをぜひご覧ください！

日時 令和8年9月18日（金）
13:00~15:20

日程 12:50~13:00 受付
13:00~13:10 学校概要の説明
13:15~13:35 校内見学及作業学習参観
13:40~14:10 作業学習体験
14:20~14:50 本校の進路活動について（説明）
14:55~15:15 情報交換等
15:15~15:20 閉会

お申し込み 記載のURLまたはQRコード
からお申し込みください。

URL

<https://forms.gle/ufnFNueqaxiSWNgx7>



＼お気軽にお問い合わせください！／



いつでもお気軽にお問い合わせください

教育専門監等の派遣依頼文の様式は、ゆり支援学校ホームページからダウンロードできます。

教 頭 高橋基裕 富樫真雄
教育専門監 太田清子
地域支援部主任 佐々木弘美

特別支援教育アドバイザー 近藤千晴

特別支援教育地域センター

- ・火、金曜日 9:00~15:45 本荘東小学校内
TEL 0184-24-1236
- ・木曜日 9:00~15:45 岩谷小学校内
TEL 0184-65-2220（特別支援教育相談ルーム）



【地域支援だよりで取り上げて
ほしい内容等ありましたらこ
ちらの二次元バーコードを読
み取りご記入ください】



ゆり支援学校相談窓口

TEL 0184-27-2631

E-mail yuri-s@akita-pref.ed.jp

HP <http://www.yuri-s.akita-pref.ed.jp>